

新宿区「区役所通り」の舗装ブロックの材料に、
 区立中学校の回収と一般回収により集められたあきびんを利用しました。

新宿区では「区役所通り（靖国通り～職安通り）」の歩道改良工事において、カレットを混入した舗装ブロックを採用。この春実施された第2期工事では、一般回収に加えて区立中学校全13校（約3250人）の協力を得て回収したあきびん（トータルで約50トン）を利用しました。

中学校の回収は、各学校の生徒会が音頭をとって実施。回収期間中、生徒たちはあきびんを2～3本瓶に入れて登校し、正門脇に置かれたコンテナに入れていったとのこと。環境教育の一環として行われたこの回収は、びんtoびん以外のあきびん利用を若い世代に知ってもらおうきっかけになったと思われます。



▲街灯の光に輝く舗装ブロック



▲第2木期工事施工風景



▲記念プレート

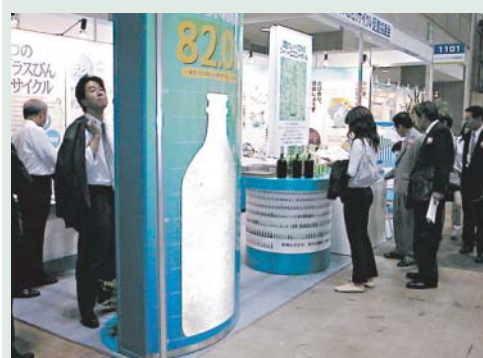


▲区内落合第二中学校の回収風景

「2003NEW環境展」と
 「エコライフ・フェア2003」に出展しました。

当協議会では、今年もまた5月27日（火）～30日（金）の4日間、東京ビッグサイトにおいて開催された「2003NEW環境展」に出展。3つのガラスびんリサイクル（再使用・再利用・他用途利用）の認知度アップをめざした展示を行いました。

続いて5月31日（土）・6月1日（日）には、代々木公園のケヤキ並木（NHKホール前）で開催された「エコライフ・フェア2003」にも出展。PETボトルリサイクル推進協議会、紙製容器包装リサイクル推進協議会、プラスチック容器包装リサイクル推進協議会、（財）日本容器包装リサイクル協会と共に、「なぜ？なに？リサイクル まずは分別から始まります」というテーマで展示を行いました。



「2003NEW環境展」



「エコライフ・フェア2003」



ガラスびんリサイクル促進協議会・第7回通常総会において、
 新会長に日本山村硝子（株）小川昇氏が就任しました。



去る6月19日（木）、丸ノ内の東商スカイルームにおいて、ガラスびんリサイクル促進協議会・第7回通常総会を開催。同総会では、新会長に日本山村硝子（株）小川昇氏、副会長に第一硝子（株）の岩本重己氏が就任しました。また新理事に、第一硝子（株）岩本重己氏と日本耐酸壘工業（株）堤俊彦氏の2名が就任しました。